学校番号	3019

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　文学国語（大修館書店）						
副教材等	未定						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文学国語では、主に近代以降の様々な文章を教材として扱います。授業では、「言語」「情報」「自然」「文学」など幅広いテーマを学習します。社会で活躍するには、読解力をはじめとして様々な知識が必要です。そのため、文学国語では文章を正確に理解する能力を高めるとともに、論理的な思考力、豊かな想像力を身に付けることを目標とします。そのうえで、正確に書く能力をしっかりと身に付けることをめざします。漢字の書き取り・読み取りを継続的におこなうとともに、言語感覚を磨き、語彙力を養成しましょう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識および技能】

言葉にある想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえる。

【学びに向かう力、人間性等】

筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取る。 ［教材］ 飛ぶことを知っている魂	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：文体の特徴や表現に注目しながら本文を読み味わい、筆者のメッセージを読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。 ［教材］ クルミの小部屋	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：学習の見通しをもって、随想を批評する活動を通して、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することに向けて、粘り強く自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読む。 ［教材］ 待合室	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の考え方や生き方について、時代背景をふまえて考える。 ［教材］ おぼろ月	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読みを深める。 ［教材］ 桐壺	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の設定や描写の仕方をとらえ、読みを深める。 ［教材］ 若紫	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)

		c:作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性を捉えようとしている。			
2学期	・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ［教材］ 夏の月	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:学習の見通しを持ち、作品を解釈する活動を通して、自然に対するものの見方や感じ方、考え方を深めることに向けて、粘り強く取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	筆者の考える、短歌が人を感動させるための方法を読み取る。 ［教材］ 共感と驚異	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:学習の見通しをもち、短歌の分析をすることを通して、作品の内容や解釈を踏まえ、進んで、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	形式や表現に注意して短歌を読み味わう。 ［教材］ 短歌	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:短歌を読むことに興味をもち、その形式や表現に注意してそれぞれの作品を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	形式や表現に注意して俳句を読み味わう。 ［教材］ 俳句	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:俳句を読むことに興味をもち、その形式や表現に注意してそれぞれの作品を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	できごとや心情を川柳の形で表現する。 ［教材］ ［書く］十七音のパズル ①川柳を作ろう	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]:「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c:さまざまなできごとや心情、情景を川柳の形式で印象的に表現することに興味をもち、進んで創作に取り組もうとしている。	川柳の作成	川柳の作成 行動の観察 (ノート・発表など)	川柳の作成 行動の観察 (ノート・発表など)
	俳句の構成方法を知り、情景を「取り合わせ」の手法で表現する。 ［教材］ ［書く］十七音のパズル ②俳句を作ろう	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[書]:「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。	俳句の作成	俳句の作成 行動の観察 (ノート・発表など)	俳句の作成 行動の観察 (ノート・発表など)

		c:さまざまなできごとや心情、情景を俳句の形式で印象的に表現することに興味をもち、進んで創作に取り組もうとしている。			
3学期	登場する生き物たちの性格や心理を読み取る。 ［教材］ 山椒魚	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:作品に興味をもち、話のおもしろさや、そこに込められた寓意を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取る。 ［教材］ 離さない	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:作品に興味をもち、登場人物の心情の変化を読み取ることを通して、この作品の寓意性を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ［教材］ こころ	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作品に興味をもち、登場人物の生き方から自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	発想を広げ、起承転結のパターンに従ってショートショートを書く ［教材］ ［書く］物語を紡ぐ ①ショートショートを書こう	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[読]:「書くこと」において文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:作品を創作することに興味をもち、構成・展開や表現を工夫しながら書くことに取り組もうとしている。	スピーチ	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０）時間

・読むこと　…　（　５０）時間